

Intersight マネージドモードでのUCS用VLANの追加および削除

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[VLANの追加](#)

[ステップ 1: ドメインプロファイルへのVLANの追加](#)

[ステップ 2: サーバプロファイルへのVLANの追加](#)

[VLAN の削除](#)

[ステップ 1: サーバプロファイルからのVLANの削除](#)

[ステップ 2: ドメインプロファイルからのVLANの削除](#)

[確認](#)

はじめに

このドキュメントでは、Intersight Managed Mode(IMM)でVLANを追加および削除する正しい方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCSおよびIMMの知識
- ネットワーキングの概念
- 独立したレイヤ2の基礎

この設定を開始する前に、次の要件があることを確認してください。

- VLAN ID

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCS-FI-6454、ファームウェア4.3(4b)
- UCSX-215C-M8、ファームウェア5.3(0.240016)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

VLANを追加または削除するには、サーバおよびドメインプロファイルの設定を変更する必要があります。関連するポリシーは次のとおりです。

- VLANポリシー
- LAN接続ポリシー
- イーサネットネットワークグループポリシー
- マルチキャストポリシー

設定

VLANの追加

ステップ 1：ドメインプロファイルへのVLANの追加

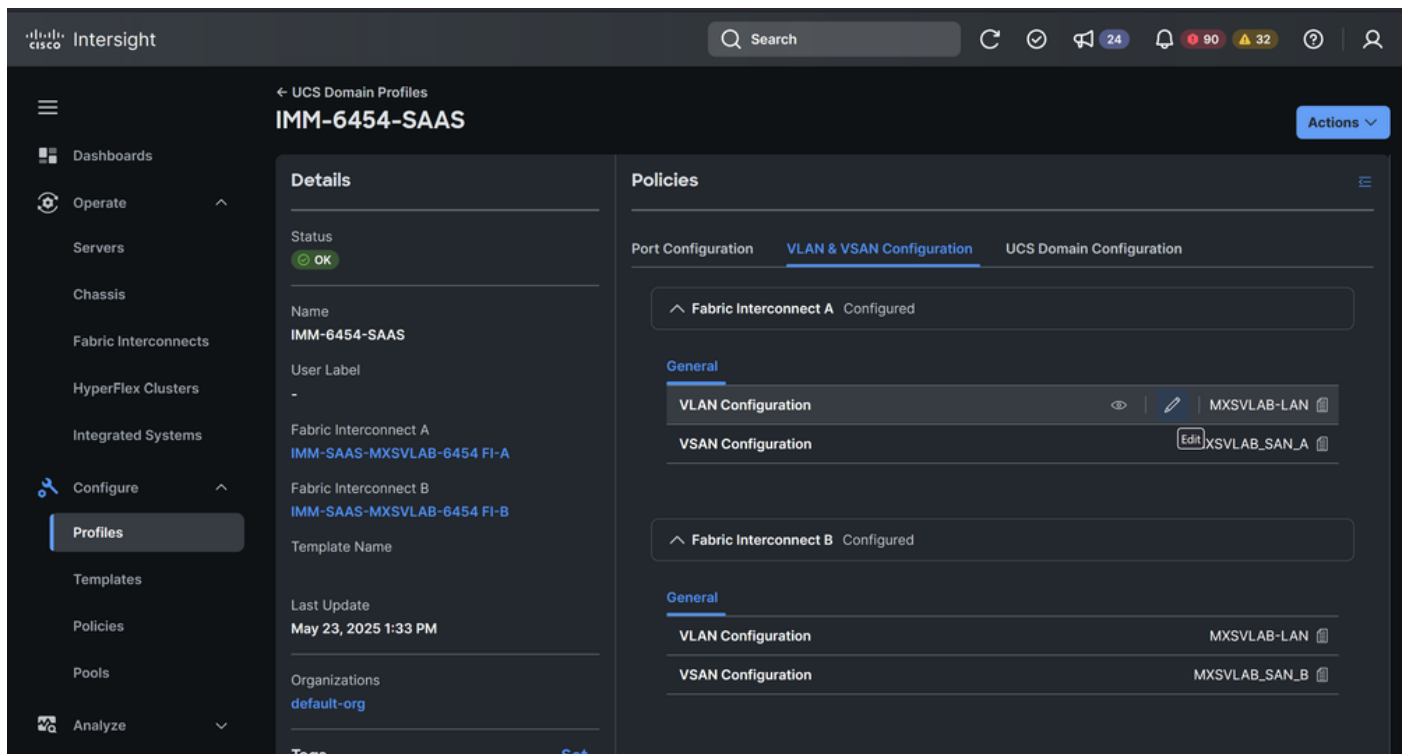
- Profiles> UCS Domain Profilesの順に移動し、VLANを追加する必要があるFabric Interconnectに割り当てられているDomain Profileを選択します。

The screenshot shows the Cisco Intersight web interface. The left sidebar contains navigation menus for Dashboards, Operate (Servers, Chassis, Fabric Interconnects, HyperFlex Clusters, Integrated Systems), Configure (Profiles, Templates, Policies, Pools), and Analyze. The main content area is titled 'Profiles' and has tabs for HyperFlex Cluster Profiles, UCS Chassis Profiles, UCS Domain Profiles (which is selected), and UCS Server Profiles. A 'Create UCS Domain Profile' button is in the top right. Below the tabs, there's a search bar and a table of UCS Domain Profiles. The table has columns for Name, Status, UCS Domain Template, UCS Domain Fabric Interconnects, and Last Update. Three profiles are listed: 'LabTest' (OK), 'IMM-6454-SAAS' (OK), and 'IMM-6536-SAAS' (Not Assigned). An 'Export' button is in the top right of the table area. At the bottom right, there's a 'Rows per page' dropdown set to 10 and a page indicator showing 1 of 1 results.

Name	Status	UCS Domain Template	UCS Domain Fabric Inte...	Fabric Inte...	Last Update
LabTest	OK		IMM-SAAS...	IMM-SAAS...	May 28, 2025 5:43 PM
IMM-6454-SAAS	OK		IMM-SAAS...	IMM-SAAS...	May 23, 2025 1:33 PM
IMM-6536-SAAS	Not Assigned				May 13, 2025 1:48 PM

UCS Domain Profilesを選択してから、Fabric Interconnectに割り当てられているDomain Profileを選択します

- VLAN & VSAN Configurationに移動します。
- Edit VLAN policyを選択します。



Edit VLAN Policyを選択します。

- 必要なVLANを追加します。 prefixには、VLANを識別するプレフィックスを入力できます。この例では、VLAN 200とVLAN 300を使用しています。
- マルチキャストポリシーを選択します。

 注：アップリンク（独立したレイヤ2）でイーサネットネットワークグループポリシーを設定している場合は、そこにVLANを追加し、Auto Allow On Uplinksオプションを無効にする必要があります。そうでない場合は、有効のままにしておくことができます。分離レイヤ2の詳細については、この[ドキュメント](#)を参照してください。

Intersight

Policies > VLAN > MXSVLAB-LAN

Edit

Add VLANs

Add VLANs to the policy

Warning: VLANs should have one Multicast policy associated to it

Configuration

Prefix * ⓘ VLAN IDs * ⓘ

200 200

☒ Auto Allow On Uplinks ⓘ

☐ Enable VLAN Sharing ⓘ

Multicast Policy *

Selected Policy multicast-IMM ⓘ | [Edit Selection](#) | 🗑️

[Cancel](#) [Add](#)

Intersight

Policies > VLAN > MXSVLAB-LAN

Edit

Add VLANs

Add VLANs to the policy

Warning: VLANs should have one Multicast policy associated to it

Configuration

Prefix * ⓘ VLAN IDs * ⓘ

300 300

☒ Auto Allow On Uplinks ⓘ

☐ Enable VLAN Sharing ⓘ

Multicast Policy *

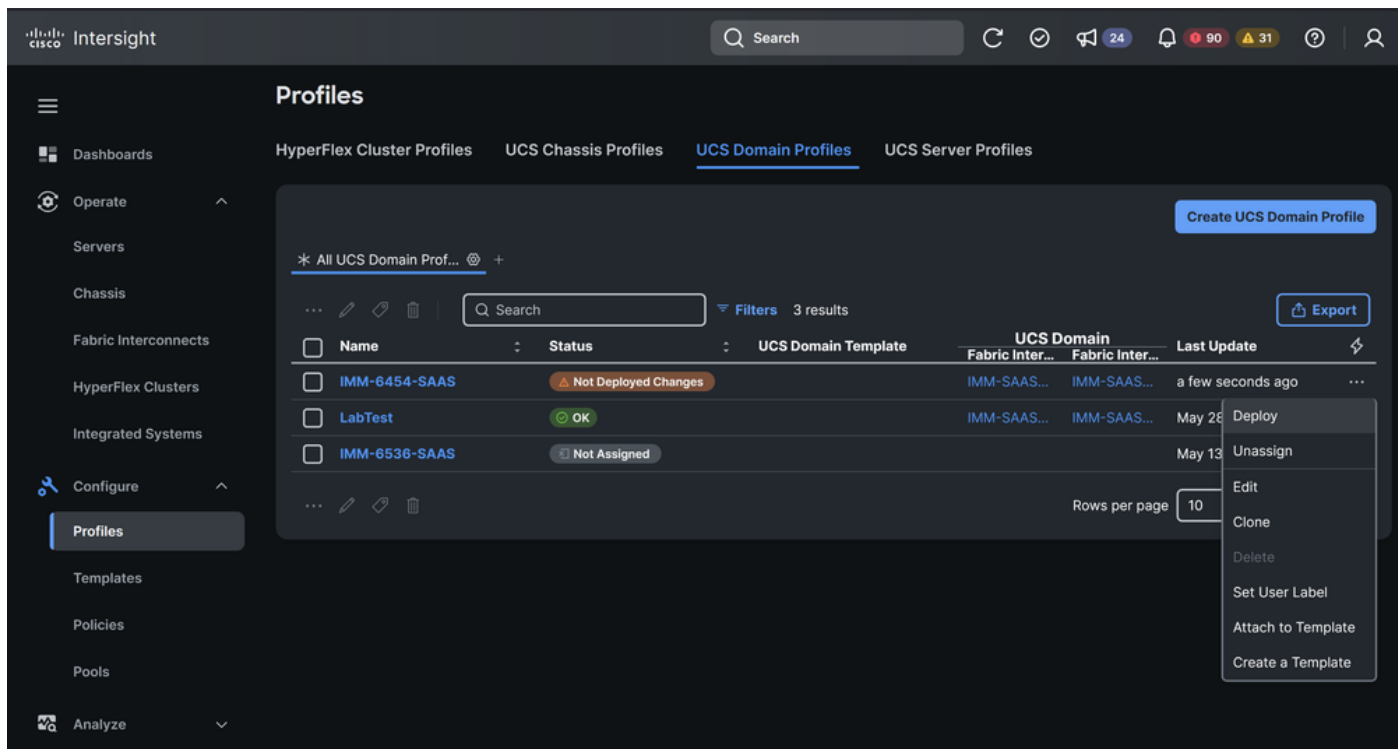
[Select Policy](#)

[Cancel](#) [Add](#)

VLANの追加

- 変更を保存します。
- Profiles> UCS Domain Profilesの順に移動し、Domain Profileを再導入します。

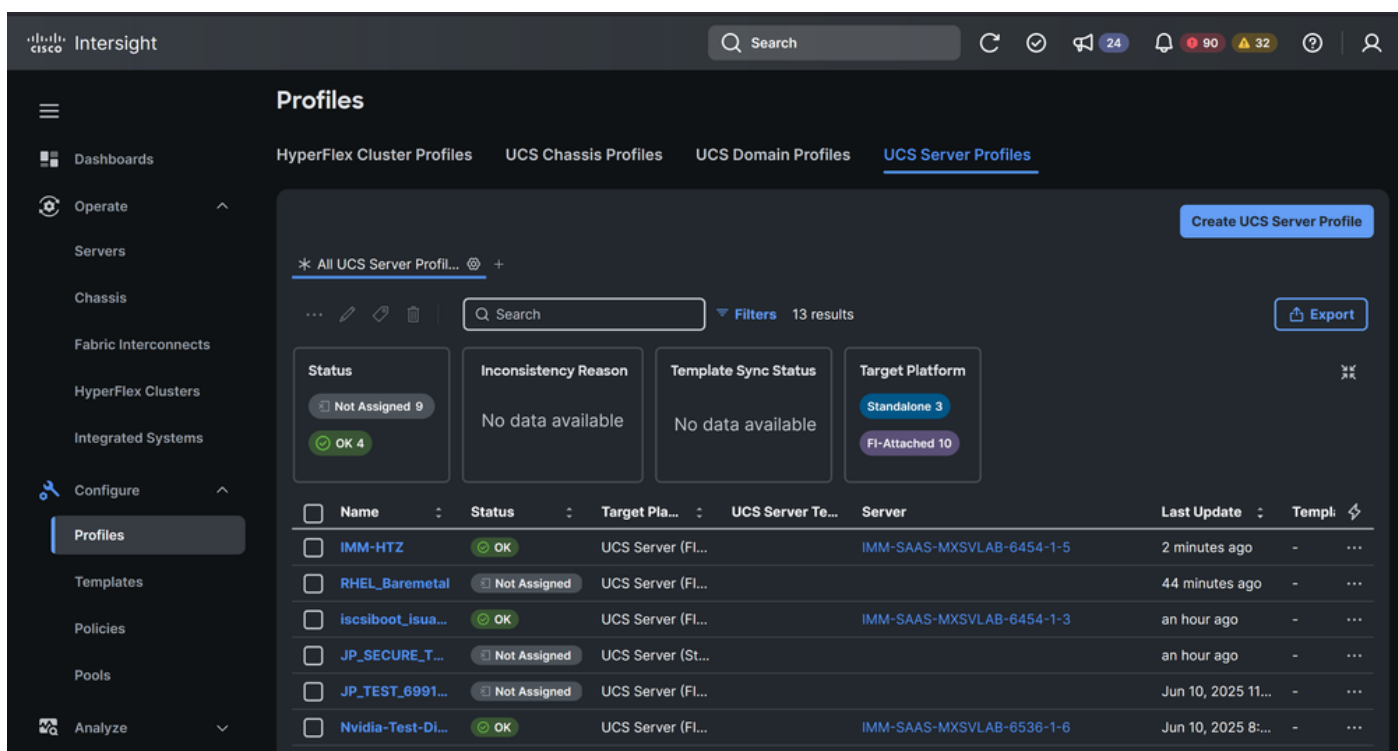
 注:VLANを追加または削除した後にドメインプロファイルを導入しても、既存のVLANのトラフィックは中断されません。



ドメインプロファイルの再展開

ステップ 2：サーバプロファイルへのVLANの追加

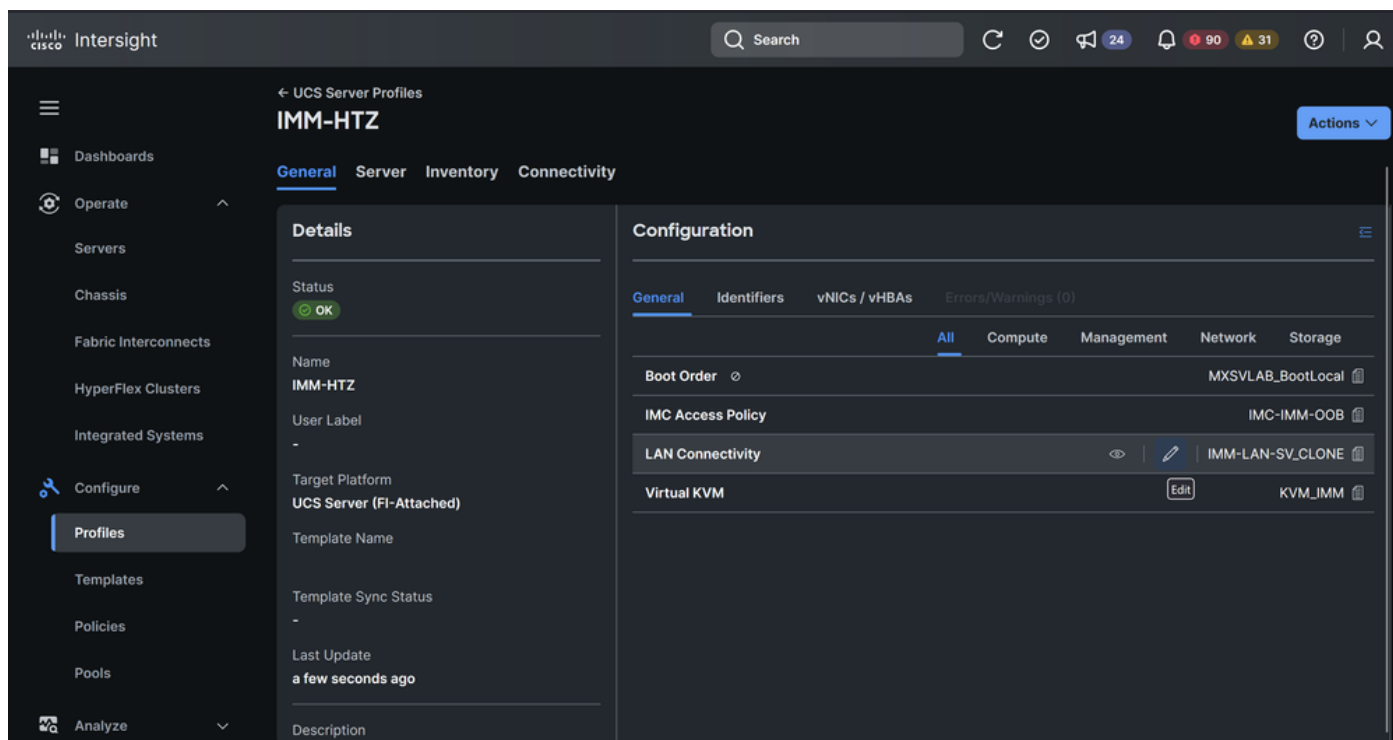
- Profiles> UCS Server Profilesの順に移動し、VLANを追加するサーバに割り当てられているサービスプロファイルを選択します。



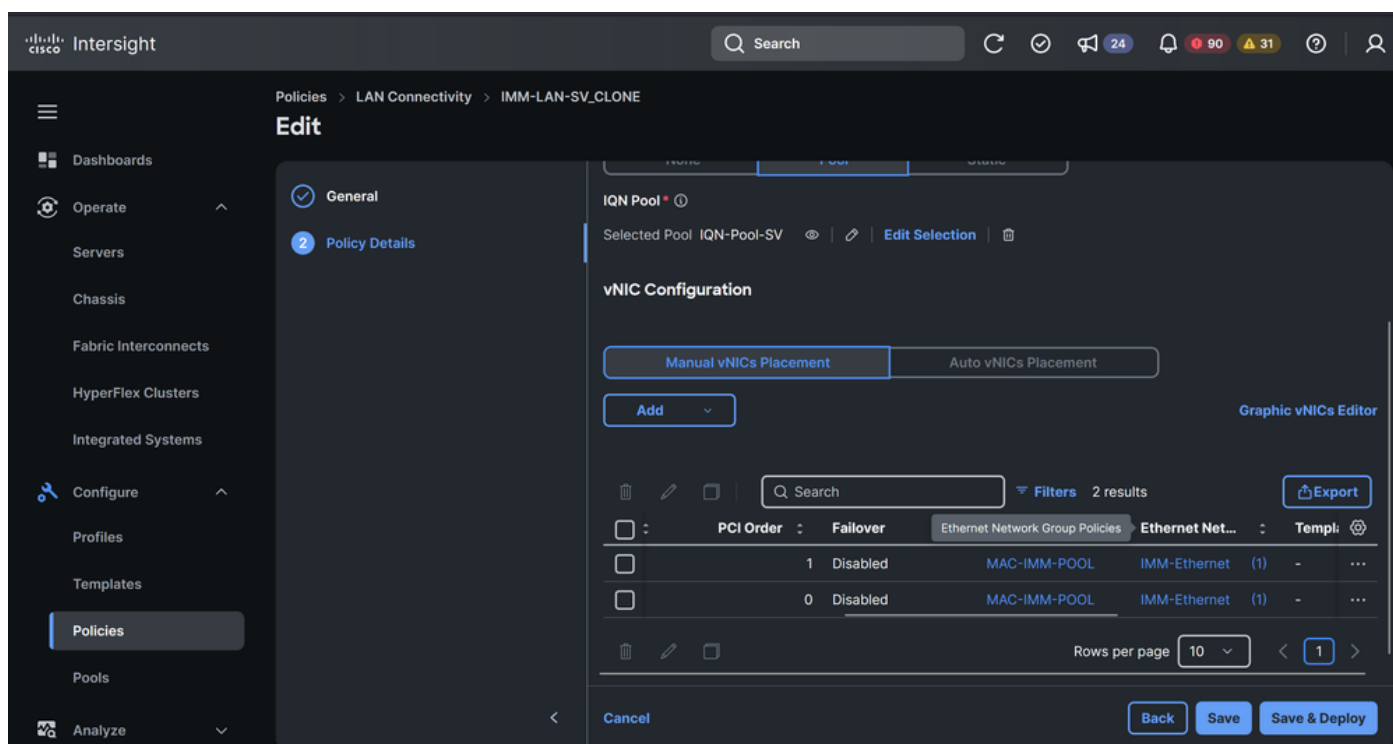
サーバプロファイルの選択

- LAN Connectivity Policyでeditを選択します。

- LAN Connectivity Policyで、vNICからEthernet Network Group Policyを選択します。

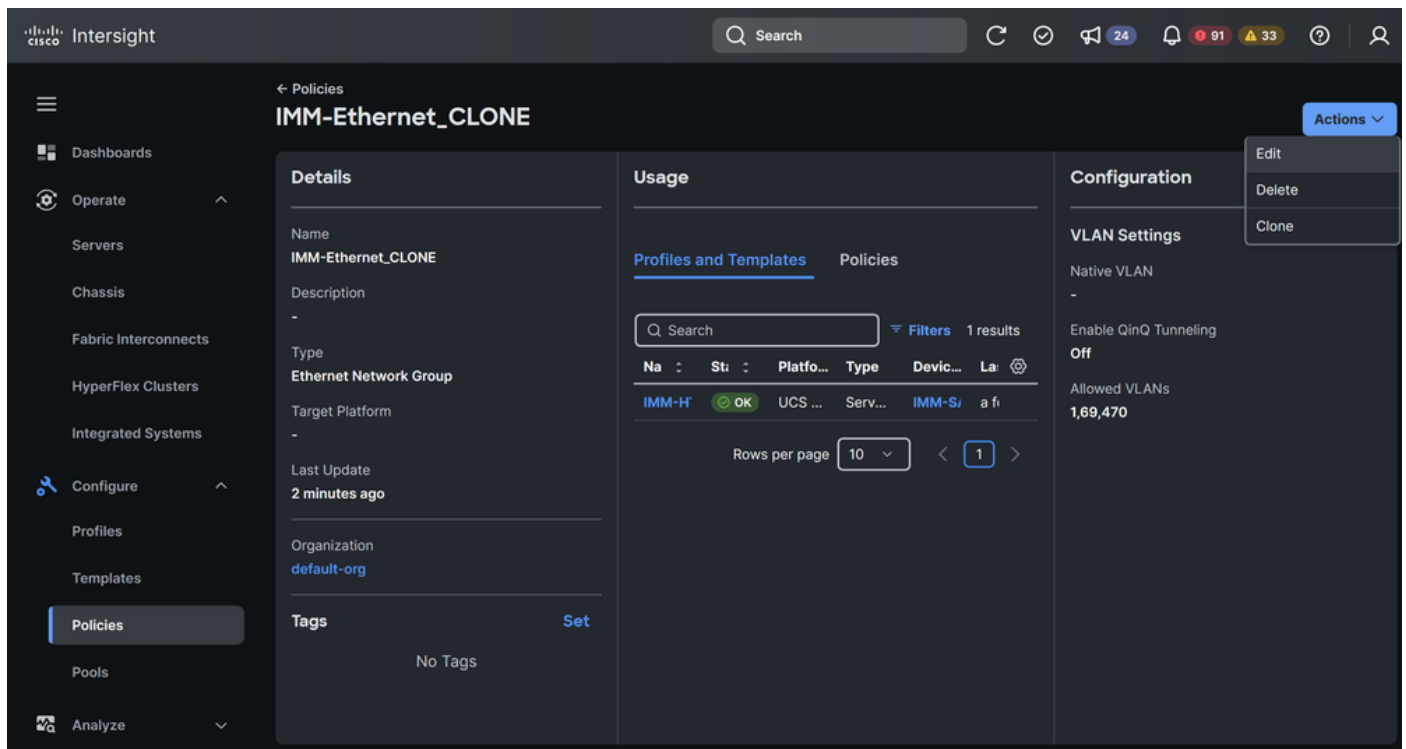


LAN接続ポリシーの編集



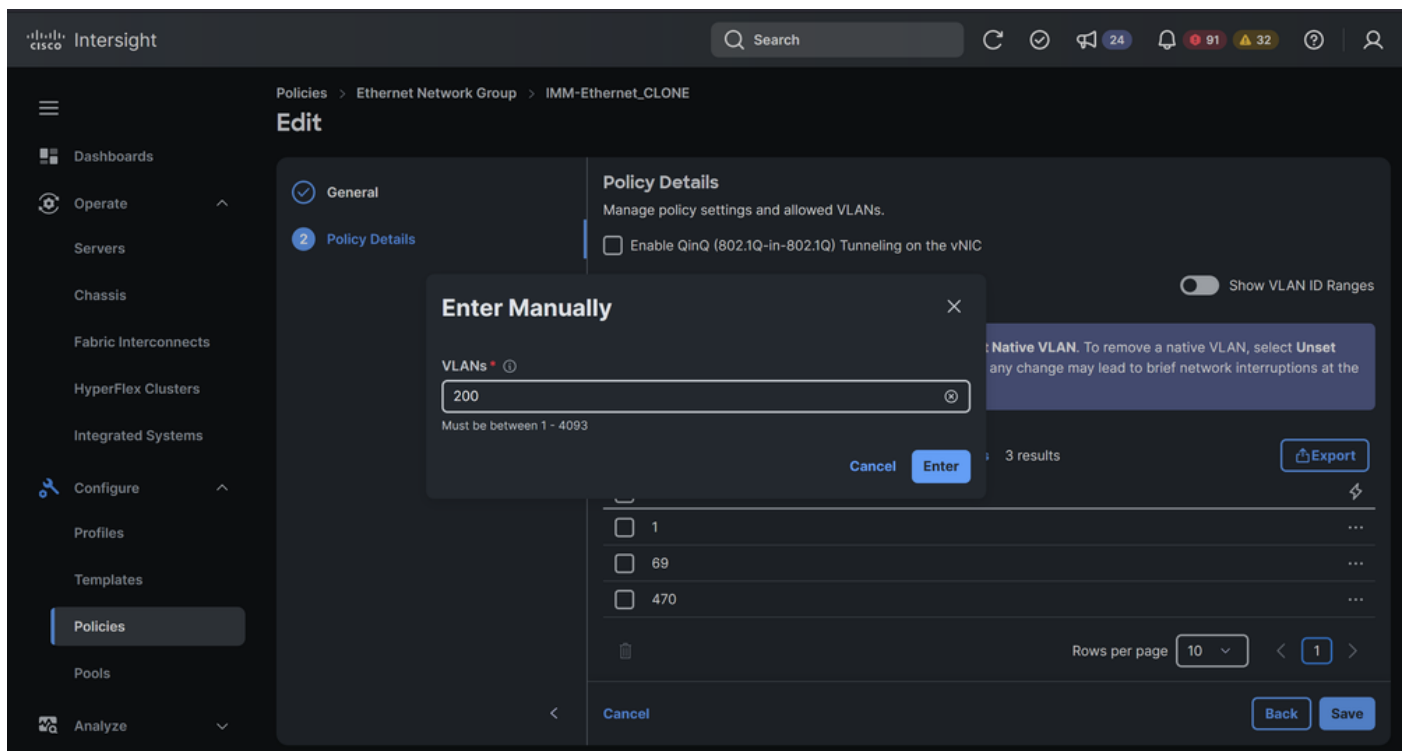
イーサネットネットワークグループポリシーの選択

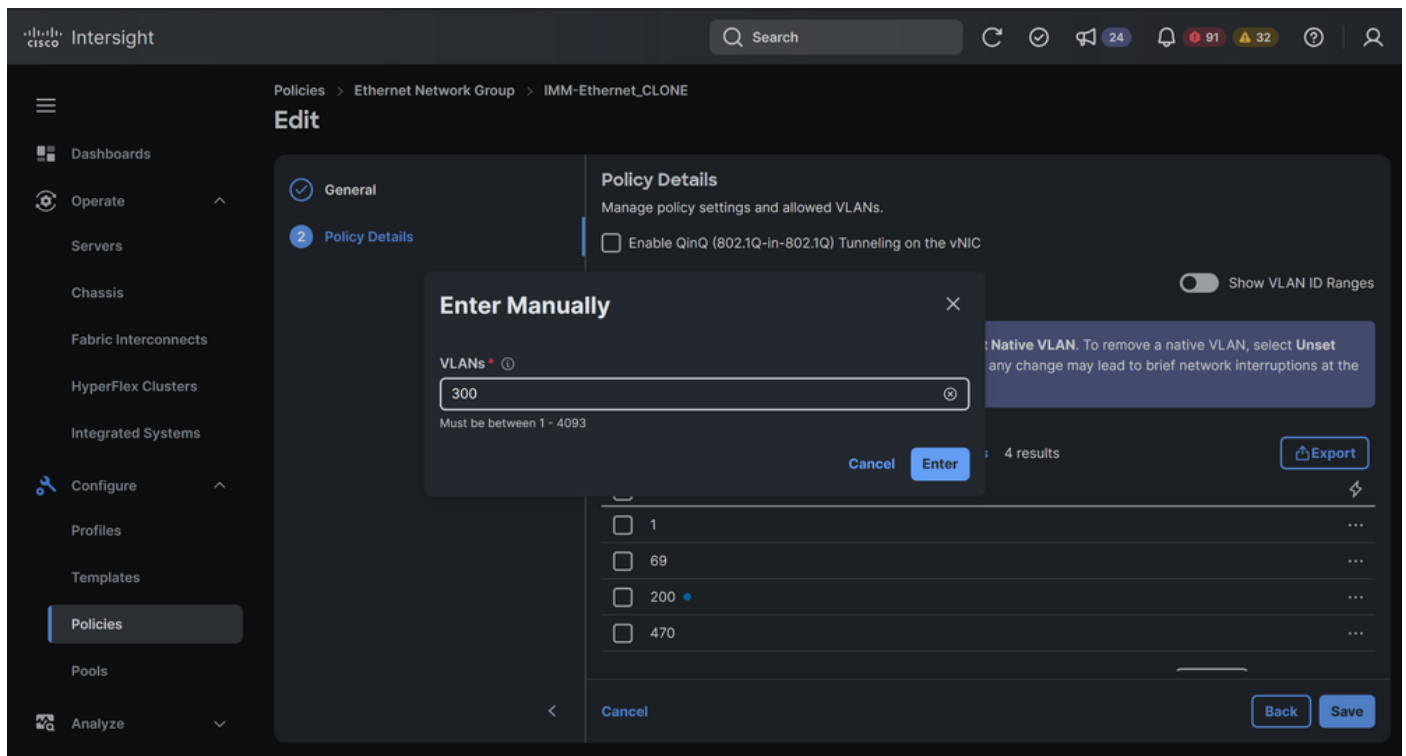
- アクションを選択し、編集します。



イーサネットネットワークグループポリシーの編集

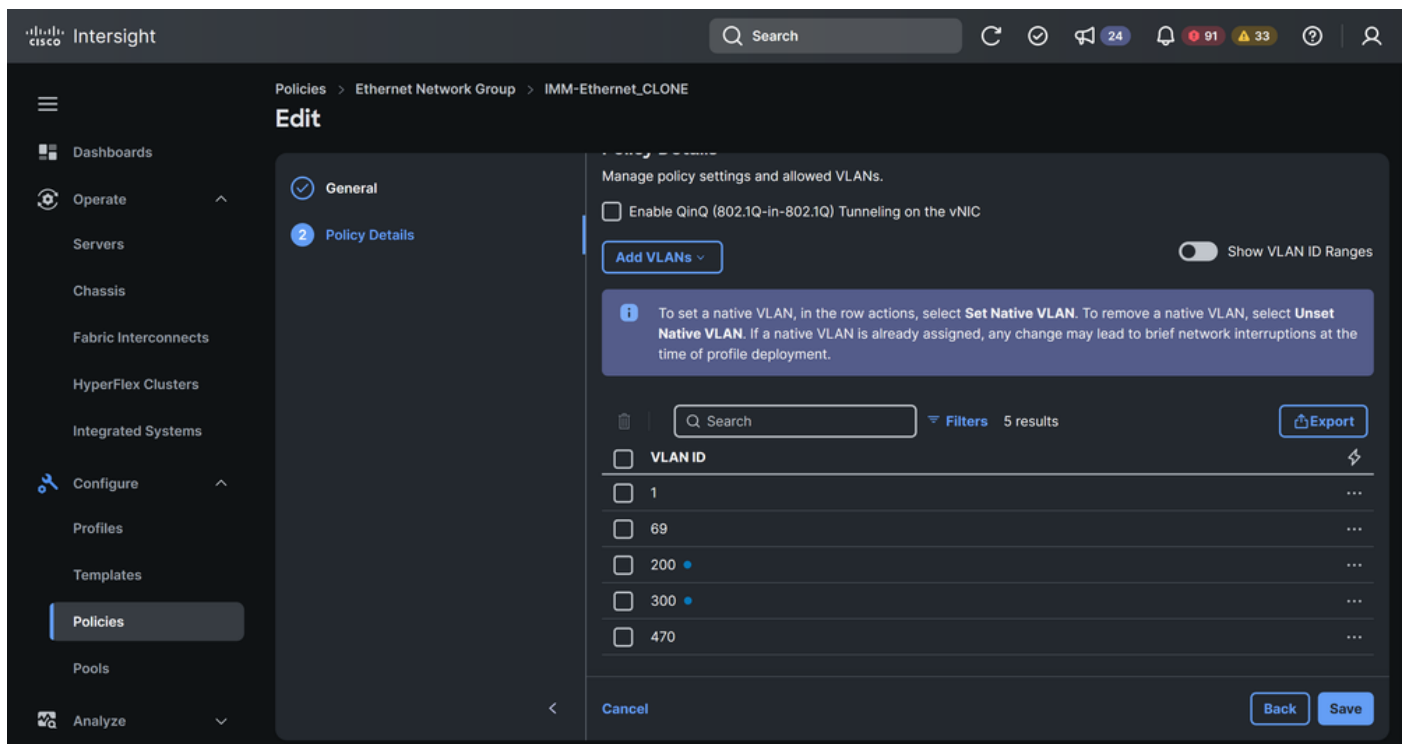
- 必要なVLANを追加します。この例では、VLAN 200とVLAN 300を使用しています。





VLANの追加

- VLANが追加されたら、変更を保存します。



変更の保存

⚠ 注意： サービスプロファイルを導入してアクティブにすると、リブートや中断が発生します。

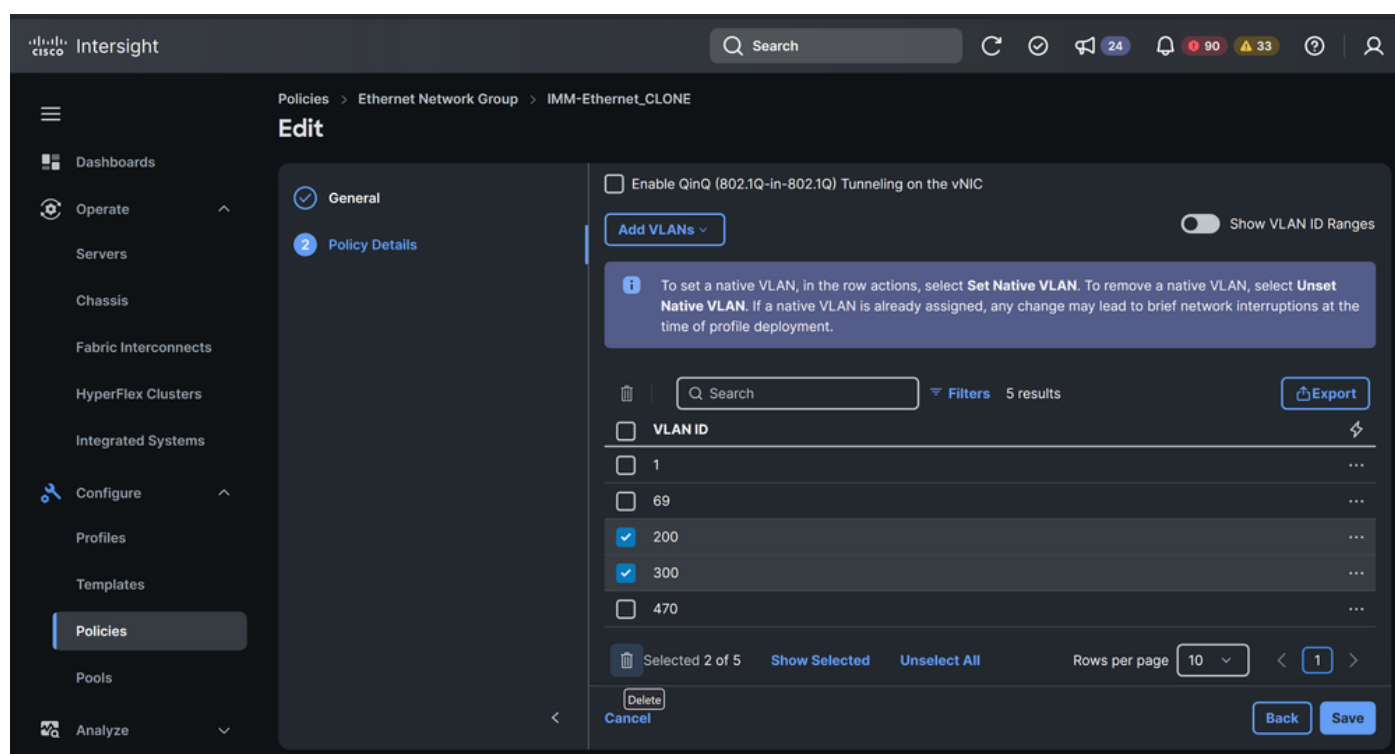
。

- Profiles> UCS Server Profilesの順に選択し、Server Profileを再導入します。

VLAN の削除

ステップ 1：サーバプロファイルからのVLANの削除

- Profiles> UCS Server Profilesの順に移動し、サーバに割り当てられているServer Profileを選択します。
- LAN Connectivity PolicyでEditを選択します。
- LAN Connectivity Policyで、vNICからEthernet Network Group Policyを選択します。
- アクションを選択してから編集します。
- 必要なVLANを削除します。この例では、VLAN 200とVLAN 300を使用しています。



VLAN の削除

- VLANが削除されたら、変更を保存します。

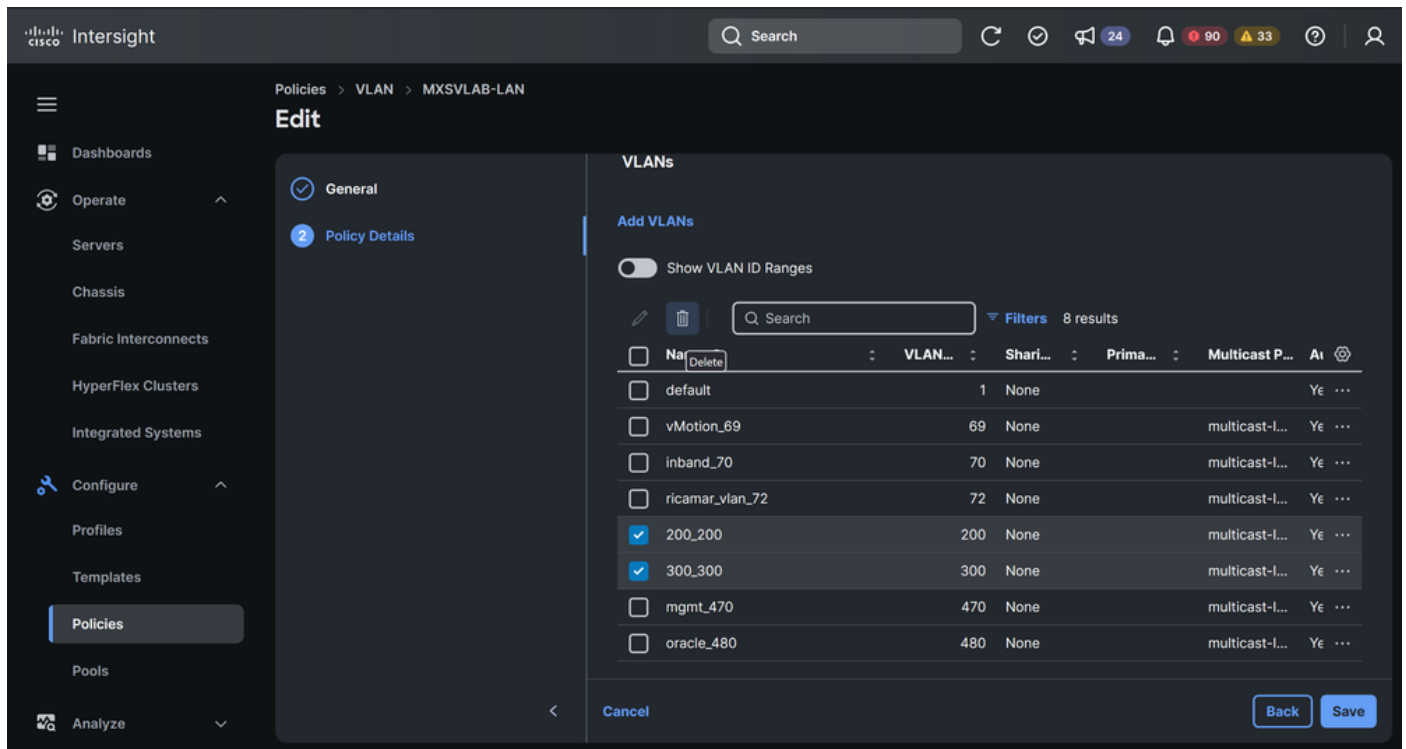
⚠ 注意： サービスプロファイルの導入とアクティブ化により、リブートと中断が発生します。

- Profiles> UCS Server Profilesの順に移動し、Server Profileを再導入します。

ステップ 2：ドメインプロファイルからのVLANの削除

- Profiles> UCS Domain Profilesの順に移動し、VLANを削除する必要があるFabric Interconnectに割り当てられているDomain Profileを選択します。
- VLAN & VSAN Configurationに移動します。
- edit VLAN policyを選択します。
- 必要なVLANを削除します。この例では、VLAN 200とVLAN 300を使用しています。

 注：アップリンク（独立したレイヤ2）でイーサネットネットワークグループポリシーを設定している場合は、そこでもVLANを削除する必要があります。分離レイヤ2の詳細については、この[ドキュメント](#)を参照してください。

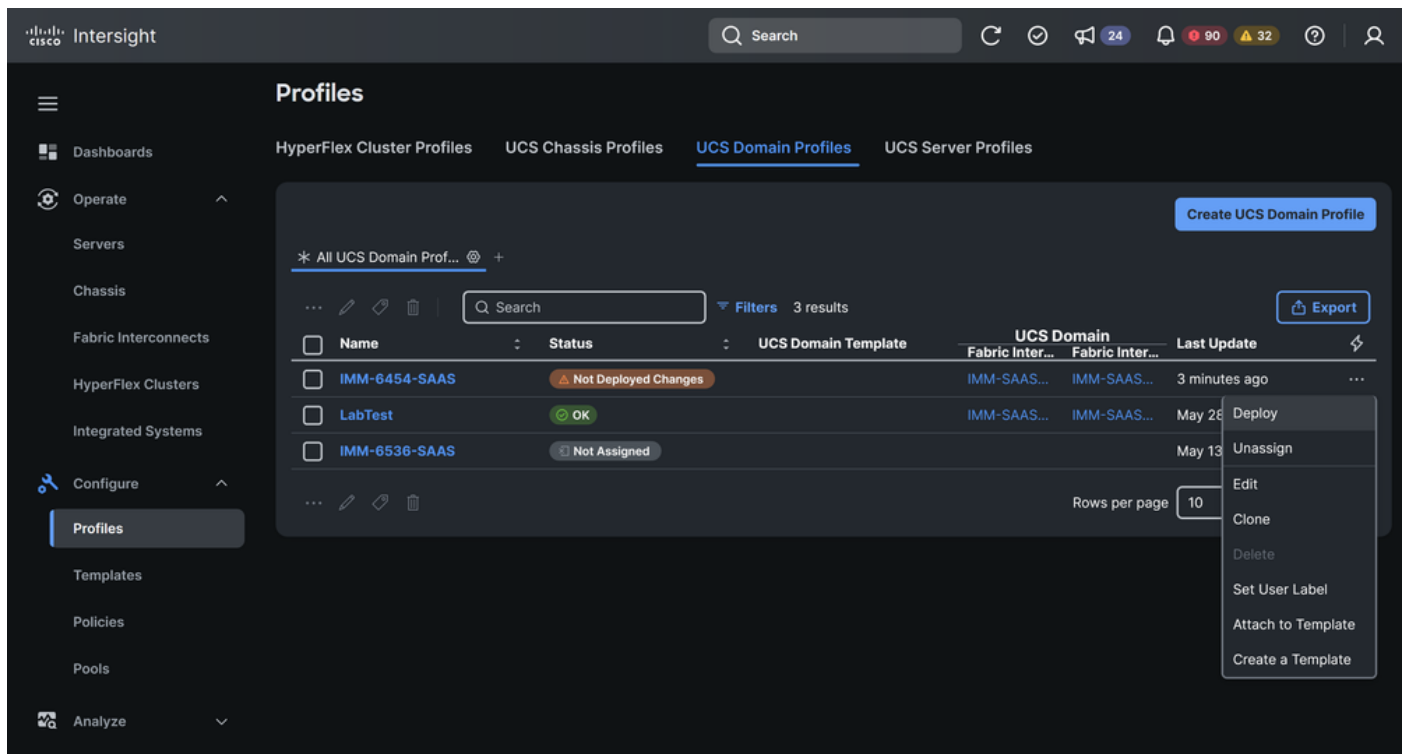


Name	VLAN ID	Shared	Primary	Multicast Policy	Actions
default	1	None			Yes ...
vMotion_69	69	None		multicast-l...	Yes ...
inband_70	70	None		multicast-l...	Yes ...
ricamar_vlan_72	72	None		multicast-l...	Yes ...
200_200	200	None		multicast-l...	Yes ...
300_300	300	None		multicast-l...	Yes ...
mgmt_470	470	None		multicast-l...	Yes ...
oracle_480	480	None		multicast-l...	Yes ...

VLAN の削除

- VLANが削除されたら、変更を保存します。
- Profiles> UCS Domain Profilesの順に移動し、Domain Profileを再導入します。

 注:VLANを追加または削除した後にドメインプロファイルを導入しても、既存のVLANのトラフィックは中断されません。



ドメインプロフィールの再展開

確認

VLANの変更が適用されたことを確認するには (VRFインターフェイスを使用して)、Fabric Interconnectへのsshセッションを開き、アップリンクインターフェイスの設定を確認します。例 :

```
FI-6454-A# connect nxos
FI-6454-A(nx-os)# show running-config int eth1/15
interface Ethernet1/15
description Uplink PC Member
pinning border
switchport mode trunk
switchport trunk allowed vlan 1,69-70,72,470,480
udld disable
channel-group 1 mode active
no shutdown
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。